2011 年 3 月 23 日
日本ブレーキ工業株式会社

東北地方太平洋沖地震の影響について（第２報）

3 月 11 日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震の影響につきまして、現時点までの復旧に向けた状況をご報告いたします。

浪江日本ブレーキ株式会社（ディスクブレーキパッド製造事業所）につきましては、既に報道の通り福島第一原子力発電所の損傷に起因する避難指示が依然継続しており、1 週間を経過した現在も社員の工場への立入りができず、被害状況の調査と復旧作業が中断している状況に変わりはありません。
こうした状況を鑑み、生産対応につきましては、当社及びグループ会社における国内及び海外の生産拠点で余剰能力が活用できる拠点からの製品の供給に鋭意努めてまいります。

千葉事業所（シューアッセンブリー、ライニングの製造事業所）につきましては、一部の建屋及び製造設備への損傷が発生しておりましたが、設備点検や品質確認が完了したものから 3 月 14 日より一部生産を開始いたしました。しかしながら、計画停電の影響、原料供給先の問題により、安定した生産が進められない状況にあります。インフラが整い次第通常生産回復に向けて努力してまいります。

広島事業所（ブレーキアッセンブリー製造事業所）につきましては、部品の調達に一部不安がありましたが、調査が終了し問題のないことが確認でき、通常の生産状況にあります。

当社といたしましては、お客様への製品の安定供給を最優先課題として、材料の確保と早急な生産体制の再構築に努めてまいります。

以上